

Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

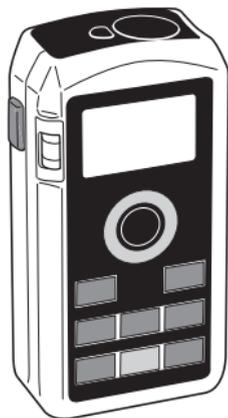
取扱説明書

保証書付

用途

- 建築現場での距離、面積、体積、辺の測定

日立レーザー距離計 UG 50Y



このたびは日立レーザー距離計をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

レーザー距離計の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	3
免責事項	4
各部の名称	5
標準付属品	6
別売部品	6
仕様	7

はじめに

ご使用前の準備	8
測定する	9
精度の確認	18
エラーの原因と対処方法	18

使い方

保管について	19
ご修理のときは	20
保証書	裏表紙

その他

HITACHI

⚠警告、⚠注意、注の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

レーザー距離計の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① レーザー光を光学機器で直接見ないでください。
 - 望遠鏡や双眼鏡、ルーペなどでレーザー光を見ると目を傷めます。
- ② 異常を感じたら絶対に使用しないでください。
 - レーザー光が強くなったり、出なくなった場合には必ず修理に出してください。
- ③ レーザー光を直接のぞきこまないでください。
 - レーザー光が目には直接当たると、目を傷める原因になります。

⚠ 警告

- ④ レーザー光路は目の高さを避けてください。
 - レーザー光が目には直接当たると、目を傷める原因になります。
- ⑤ レーザー光路には立ち入らないようにしてください。
 - 使用者以外はレーザー光路に立ち入らないようにしてください。
- ⑥ 分解、改造は絶対にしないでください。
 - 故障、修理の場合は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申しつけください。
- ⑦ レーザー光路に反射物を置かないでください。
 - レーザー光が反射して目に当たると、目を傷める原因になります。
- ⑧ 使用者にレーザー光による障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- ⑨ レーザー光を人に向けしないでください。
- ⑩ 子供に使用させないでください。

本製品の使用上のご注意

この機体は精密機器です。次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 注意

- ① 使用前、使用後には必ず精度確認をしてください。
 - 故障した状態で使用すると、誤作業の原因になります。
- ② 0℃～40℃の環境で使用してください。
 - 上記環境外では精度不良や、レーザー光が照射しない場合があります。
- ③ 次のような場所には置かないでください。
 - 精度不良や故障の原因になります。
 - ・ 直射日光の当たる所や、暖房器具の近くなどの高温になる所
 - ・ ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内
 - ・ 磁気を帯びた所
 - ・ 振動の多い所
 - ・ ほこりの多い所
 - ・ 濡れた所や湿気の多い所

⚠ 注意

- ④ 結露の状態では使用しないでください。
 - 精度不良や故障の原因になります。
- ⑤ 故障のまま使用しないでください。
 - すぐに使用を中止して、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申しつけください。
- ⑥ 落下したり、転倒などの強い振動を与えないでください。
 - 落下したり、転倒した場合は、精度を確認するか修理に出してください。
- ⑦ 雨や水にぬらさないでください。
 - 性能や寿命が低下し、故障の原因になります。
- ⑧ 機体を移動させるときは電源をOFFにして運んでください。
- ⑨ レーザー照射口および受光レンズには触れないでください。
 - 精度不良の原因になります。

⚠ 注意

- ⑩ 運搬する場合はソフトケースに入れて運んでください。
 - 振動や転倒などで精度不良や故障の原因になります。
- ⑪ 保管する場合はソフトケースに入れてください。
 - 湿気やほこりで故障の原因になります。
- ⑫ 使用しない場合は乾電池を取り出してください。
 - 液漏れして故障の原因になります。
- ⑬ 定期点検を行ってください。
 - 安全にお使いいただくため、定期的に点検に出すことをおすすめします。
- ⑭ 使用者への安全教育について
 - レーザー光の性質、有害性などについて、十分ご理解のうえご使用ください。
- ⑮ 測定を行う場合は安全な測定場所を確保してください。

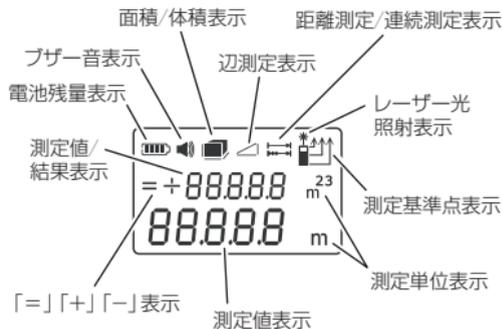
免責事項

- 取扱説明書の記載をよく守ってご使用ください。
取扱説明書に記載された用途以外の使い方によって生じた損害（事業の中断等による損失を含む）について、当社は一切責任を負いません。
- 使用前、使用後には必ず精度確認を行ってください。また、本製品に転倒・落下等による衝撃が加わった場合にも同様に精度確認を行ってください。
精度確認を行わなかった場合の誤作業によって生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の本来の用途以外の使用によって生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、第三者の行為、その他の事故等による損害について、当社は一切責任を負いません。

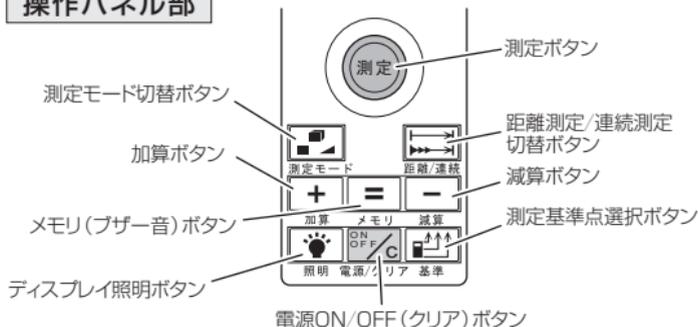
各部の名称



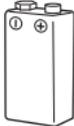
ディスプレイ部



操作パネル部



標準付属品

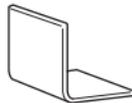
ソフトケース		1個
9Vアルカリ乾電池		1本
ストラップ		1個

別売部品

詳しくは、お買い求めの販売店または日立工機の全国営業拠点（P 20 参照）にお問い合わせください。
(別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

ターゲットプレート

下記対象物を測定する場合、ご使用ください。



1. 日中の強い直射日光が当たる対象物
2. 反射の弱い対象物

〈使い方〉

まず測定対象面にターゲットプレートの面を合わせます。
次にターゲットプレートの面に本体のレーザー光を照射し、測定します。

仕 様

使用電源	9V形アルカリ乾電池1本	
測定可能範囲 ※1	0.5～50 m	
測定モード	距離測定、連続測定、面積測定、体積測定、辺測定	
レーザー	レーザー：可視光半導体レーザー 650 nm 出力：1 mW以下(クラス2 ※2)	
測定精度(繰返し) ※3	±1.5 mm	
測定時間 ※4	0.5～3 秒	
最小測定単位	1 mm	
防滴・防じん	保護等級 IP 54 ※5 (電池収納部を除く)	
電池寿命	約 30,000 回 ※6	
使用温度範囲	0～40℃	
保管温度範囲	-20～60℃	
自動電源オフ ※7	レーザー光	約30 秒
	ディスプレイ	約3 分
本体寸法	高さ 111 mm×幅 58 mm×厚さ 32 mm	
質量	140 g (乾電池含む)	

※1：測定可能範囲は、測定対象表面からのレーザー光の反射特性や周囲の明るさにより変動する場合があります。

※2：JIS C 6802：2005によるレーザークラス。

※3：測定精度は、測定対象表面からのレーザー光の反射特性や周囲の明るさにより変動する場合があります。

※4：測定時間は、測定対象表面からのレーザー光の反射特性や周囲の明るさにより変動する場合があります。

※5：水の飛まつ、粉じんによる有害な影響を受けない。

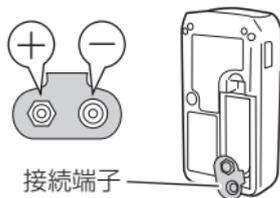
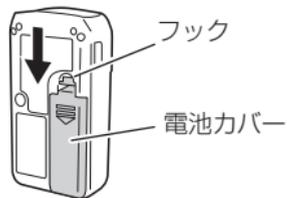
※6：電池寿命は使用する環境や電池の種類によって変動することがあります。

※7：電源を入れて放置した場合、電源が自動的にOFFするまでの時間。

ご使用前の準備

工場出荷時、付属の乾電池は取付けてありませんので、ご使用前に次の手順で取付けてください。

- ① 電池カバーのフックを矢印方向に押し下げ、電池カバーをはずします。
- ② 新しい乾電池と接続端子の+-を合わせ接続します。
- ③ 端子側を下にして本体に乾電池を収納します。
- ④ 本体の穴にフックを合わせて電池カバーを押し込みます。



注 乾電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないで下さい。

測定する

⚠ 警告

レーザー光を直接のぞきこんだり、人のいる方向には絶対に向けないでください。
レーザー光が目に入ると目を傷める原因になります。

1 電源を入れる

- 操作パネルの電源ON/OFF (クリア) ボタンを押し、電源を入れディスプレイを表示させます。
- 電源を切る場合は、電源ON/OFF (クリア) ボタンを2秒間以上、長押しします。



2 測定モードを選択する

- 測定モードは5種類選択できます。測定モードとディスプレイ表示、操作パネルのボタンの関係は下表のようになっています。
- 電源を入れると距離測定モードが選択されるよう設定されています。
- 一度選択されたモードは、モードを変更するか、電源を切らない限り選択したモードのまま測定されます。

測定モード	ディスプレイ表示	操作パネルボタン
距離測定		
連続測定		
面積測定		
体積測定		
辺測定 (ピタゴラスの定理)		

3

基準点を選択する

- 基準点は本体の「前面端部」、「W1/4ねじ穴」、「後面端部」の3種類の位置が選択できます。基準選択ボタンを押して基準点を選択します。
- 電源を入れると前回最後に設定した基準点が表示されますので、使用する基準点を選択してください。

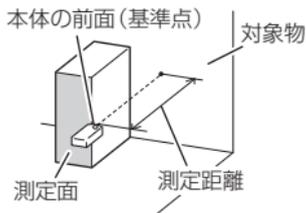
本来の基準点	ディスプレイ表示	操作パネルボタン
前面端部		
W1/4ねじ穴		
後面端部		

注 対象物との水平の水準が必要な場合は、本体の気泡管で水準調整ができます。

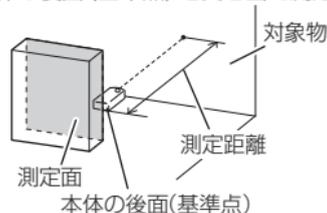


基準点と測定例

1. 前面端部を基準点として測定する場合
測定面に本体の前面(基準点)を突き当て測定します。

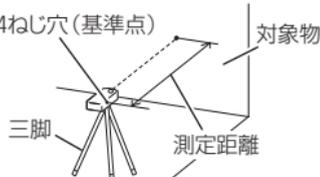


2. 後面端部を基準点として測定する場合
測定面に本体の後面(基準点)を突き当て測定します。



3. W1/4ねじ穴(三脚に固定)を基準点として測定する場合

三脚に固定する本体のねじ穴中心を基準に測定します。W1/4ねじ穴(基準点)



使い方

- 注** • 測定するときは、レーザー光をさえぎるものがないことを確認してください。
- 測定中は本体を動かさないでください。(連続測定モードは除く)
 - 測定はレーザー光の中心が対象になります。これは対象物に対して斜めに照射された場合も同様です。
 - 測定範囲は測定対象表面からのレーザー光の反射特性や周囲の明るさにより変動する場合があります。
直射日光の強い野外で作業を行う際は、ターゲットプレート(別売部品)を使用するか、照射対象面に影をつけると正確に早く測定できます。
 - 透明な表面(ガラス、水面など)および鏡表面を対象物にして測定すると正しく測定できないことがあります。
また、穴があいている表面や、凹凸のある表面、温度差の大きい空気層、間接的な反射光の受光なども測定誤差の原因になることがあります。
 - 電源を入れて放置した場合、約3分で自動的に電源がOFFになります。
この場合は、再度電源を入れてください。
 - レーザー光照射後、放置した場合、約30秒でレーザー光が消灯します。
この場合は、再度測定ボタンを押して測定してください。
 - 電源を入れて、測定可能になるまでの時間は、使用する環境により変動する場合があります。
 - 測定中にエラーが発生した場合は、原因を取除いてから、再度測定してください。

4

測定する (次ページにつづく)

1 距離を測定する

- ① 距離測定を選択します。
(P9  「測定モードを選択する」参照)
- ② 測定ボタンを押し、照射されたレーザー光を対象物に合わせます。
レーザー光の状態がディスプレイに表示されます。
- ③ 次に、測定ボタンを押し測定が完了すると、ブザー音とともに測定値がディスプレイに表示されます。
測定が完了すると、レーザー光は消灯します。

レーザー光の状態	ディスプレイ表示
レーザー光照射	
レーザー光消灯	

- ④ 再度測定するときは、②、③を繰返します。

注 本体側面のサイド測定ボタンは操作パネルの測定ボタンと同じ機能です。
狭い場所の場合、本体を縦置きにして操作できるので便利です。

2 連続で測定する

連続測定は、対象物から希望する位置を設定する場合に使用します。

- ① 連続測定を選択します。
(P9  「測定モードを選択する」参照)
- ② 測定ボタンを押し、照射されたレーザー光を対象物に合わせます。
- ③ 希望する測定値がディスプレイに表示されるまで本体を移動させます。
- ④ 再び、測定ボタンを押すと連続測定が終了し、最後の測定した測定値がディスプレイに表示されます。
連続測定の値は0.5～3秒毎にブザー音とともにディスプレイに表示されます。
次の測定開始すると、以前の測定値は消去されます。

注 連続測定の場合、自動電源OFFになりませんので、測定後は必ず、操作ボタンを押して連続測定を終了してください。

4

(測定する)のつづき…

3 面積を測定する

長さとの幅の2方向距離を測定すると、面積が自動計算され表示します。

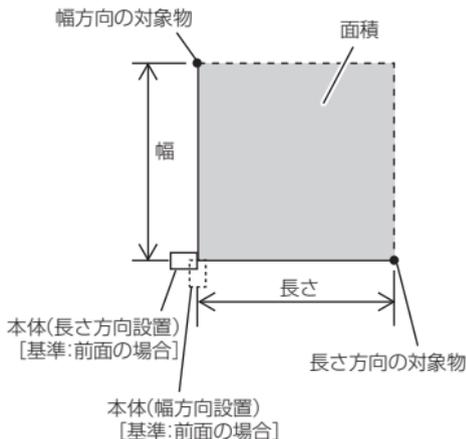
①面積測定を選択します。
(P9 ②「測定モードを選択する」参照)

②長さを測定します。

- ・測定ボタンを押し、照射されたレーザー光を長さ方向の対象物に合わせます。
- ・次に、測定ボタンを押し、測定が完了すると、ブザー音とともに長さの測定値がディスプレイに表示されます。このとき、レーザー光は消灯しません。

③幅を測定します。

- ・測定ボタンを押し、照射されたレーザー光を幅方向の対象物に合わせます。
- ・次に、測定ボタンを押し、測定が完了すると、ブザー音とともに幅の測定値と面積の計算結果がディスプレイに表示されます。



	ディスプレイ表示	表示の内容
測定前	— m ² — m	
長さ測定後	3.083 m 3.083 m	→長さの測定値 →長さの測定値
幅測定後	6.289 m ² 2.040 m	→面積の計算結果 →幅の計算結果

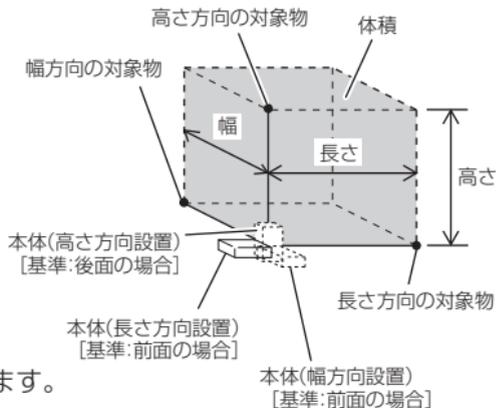
4

(測定する) のつづき…

4 体積を測定する

長さ、幅、高さの測定を完了すると、体積が自動計算され表示されます。

- 体積測定を選択します。
(P9  「測定モードを選択する」参照)
- 長さを測定します。
 - 面積の長さの測定の項と同じ操作をします。
- 幅を測定します。
 - 面積の幅の測定の項と同じ操作をします。
- 高さを測定します。
 - 測定ボタンを押し、照射されたレーザー光を、高さ方向の対象物に合わせます。
 - 次に、測定ボタンを押し、測定が完了するとブザー音とともに高さの測定値と、体積の計算結果がディスプレイに表示されます。



	ディスプレイ表示	表示の内容
測定前	$\text{—} \text{m}^3$ $\text{—} \text{m}$	
長さ測定後	3.083 m 3.083 m	→長さの測定値 →長さの測定値
幅測定後	6.289 m^2 2.040 m	→面積の計算結果 →幅の計算結果
高さ測定後	5.333 m^3 0.848 m	→体積の計算結果 →高さの計算結果

4

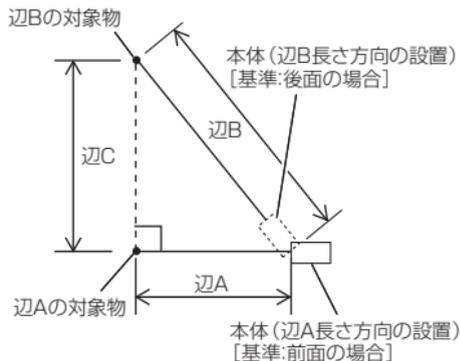
(測定する) のつづき…

5 辺(ピタゴラスの定理)を測定する

辺の測定は直角三角形の2辺を測定すると、残りの1辺の距離が自動計算され表示します。障害物がある場合や高所の対象面がなく距離測定ができない場合等に使用します。

図において辺Cを求める場合

- ① 辺測定を選択します。
(P 9 ②「測定モードを選択する」参照)
- ② 辺A長さを測定します。
 - ・ 面積の長さの測定の項と同じ操作を行い、辺A長さを測定します。
- ③ 辺Bを測定します。
 - ・ 辺A長さの測定と同じ操作を行い、辺B長さを測定します。
 - ・ 測定が完了するとブザー音とともに辺Bの長さの測定値と辺Cの計算結果がディスプレイに表示されます。



	ディスプレイ表示	表示の内容
測定前	_____m ² _____m	
辺A測定後	1.862 m 1.862 m	→辺Aの測定値 →辺Aの測定値
辺B測定後	5.039 m 5.372 m	→辺Cの計算結果 →辺Bの測定値

4

(測定する)のつづき…

6 測定値を削除する

操作パネルの電源ON/OFF(クリア)ボタン  を押すと、測定値が削除されます。

7 ディスプレイの照明を付ける

ディスプレイ照明ボタン  を押すと、緑色バックライトが点灯/消灯します。バックライトは、ボタン操作をしないと約8秒で自動的に消灯します。測定中はバックライトの点灯/消灯の操作はできません。

8 ブザー音を切る

操作パネルメモリボタン  を2秒以上長押しすると、ブザー音のON/OFFをすることができます。

9 電源を切る

操作パネルの電源ON/OFF(クリア)ボタン  を2秒以上長押しすると、電源が切れます。

5

測定値を保存・加算・減算・消去する

1 測定値を保存する

ディスプレイに表示されている測定値はメモリボタンを押すと保存されディスプレイの上段に「=」が表示され、その横に保存した値が表示がされます。保存された値は電源を切っても消去されず、再度電源を入れたとき、ディスプレイの上段に保存した値が表示されます。

2 測定値を加算する

すでにメモリ内に値が保存されている場合、その値に新たに測定した値を加算することができます。ディスプレイに測定値が表示されているとき、加算ボタンを押すとディスプレイの上段に計算結果の表示とその横に「+」が3回点滅表示します。ただし単位「m」「m²」「m³」が異なると加算できません。

3 測定値を減算する

すでにメモリ内に値が保存されている場合、その値に新たに測定した値を減算することができます。ディスプレイに測定値が表示されているとき、減算ボタンを押すとディスプレイの上段に計算結果の表示とその横に「-」が3回点滅表示します。ただし単位「m」「m²」「m³」が異なると減算できません。

- 注**
- ディスプレイに測定値が表示された状態で加算および減算を行うと、測定値の加算および減算を繰返し計算をすることができます。
 - すでにメモリ内に保存されているとき、ディスプレイに最新の測定値が表示された状態でメモリボタンを押すと、最新の測定値が表示され、既存の測定値は削除されます。

4 保存した測定値を消去する

メモリボタンを押して、ディスプレイの測定値の表示を上段に移します。次に、電源ON/OFF(クリア)ボタンを押すと、メモリが消去されます。

精度の確認（使用前、使用后）

各精度確認の結果、正常でない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

⚠ 警告

使用前、使用后には必ず下記の精度を確認してください。
故障した状態で使用すると、誤作業の原因になります。

くり返し測定精度の確認

- ① 本体の位置を固定し、1～5 m程度の距離を10回くり返し測定してください。
- ② 測定値のバラツキが3 mm以内であれば正常です。（※）

※測定精度は、測定対象表面からのレーザー光の反射特性や使用周囲の明るさにより異なります。よって、測定対象面の状態は下記の条件で行ってください。

- (1) 直射日光等が当たらない暗い場所
- (2) 凹凸がない面
- (3) 光の反射が大きく（鏡面等）ない面
- (4) 壁の色は白系
- (5) 測定場所に蒸気や曇気楼、粉じんがない場所

エラーの原因と対処方法

エラー番号	原因	対処方法
201	測定範囲外	測定範囲内で測定してください。
202	反射した信号が弱すぎる	測定対象面が良い状態で測定してください。
203	表示範囲をオーバーしている	ON/OFFボタンを押してリセットしてください。
204	計算誤り（ピタゴラスの定理）	正しい順番で測定してください。
205	電池消耗	新品の電池と交換してください。
206	温度が高すぎる	0～40℃の範囲で使用してください。
207	温度が低すぎる	0～40℃の範囲で使用してください。
208	周囲が明るすぎる	強い光（直射日光等）のない所で測定してください。

保管について

- 使用後は必ず電源を切って、付属のソフトケースに入れて保管してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所には保管しない。
 - 振動する場所には保管しない。

廃棄

本機の廃棄処分は各地域の行政が指導する方法に従って適切に処分してください。本機を不適切に廃棄処分すると、以下のような問題が起こる恐れがあります。

- プラスチック部品を燃やすと、有毒ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 電池が損傷したり、加熱され爆発したりすると、毒物の発生、火傷、腐食、火災あるいは環境汚染の原因となることがあります。
- 本機を無責任に廃棄処分すると、製品知識のない人が規定を守らずに使用する恐れがあります。そのため自分自身だけでなく第三者も重症を負ったり、環境汚染を起こすことがあります。

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさないで買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。また、部品ご購入の場合や取扱いでお困りの点などについても、ご遠慮なくお問い合わせください。

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店	TEL (011) 271-4751 (代)	〒060-0003	札幌市中央区北三条西4丁目1番地1 (日本生命札幌ビル)
東北支店	TEL (022) 288-8676 (代)	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
関東支店	TEL (03) 5812-6331 (代)	〒110-0016	台東区台東4丁目11番4号 (三井住友銀行御徒町ビル)
中部支店	TEL (052) 262-3811 (代)	〒460-0008	名古屋市中区栄3丁目7番13号 (コスモ栄ビル)
北陸支店	TEL (076) 263-4311 (代)	〒920-0058	金沢市示野中町1丁目163番
関西支店	TEL (0798) 37-2665 (代)	〒663-8243	西宮市津門大筒町10番20号
中国支店	TEL (082) 228-0537 (代)	〒730-0011	広島市中区基町11番13号 (第一生命ビル)
四国支店	TEL (087) 863-6761 (代)	〒760-0078	高松市今里町1丁目28番14号
九州支店	TEL (092) 621-5772 (代)	〒813-0062	福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」



0120-208822 (フリーダイヤル・無料)

※携帯電話からはご利用になれません。

(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

× ㊦

メ モ

日立レーザー距離計 保証書

形名	UG 50Y	保証期間	本体：1年(付属品は除く)
----	--------	------	---------------

※お買い上げ日		平成 年 月 日	製造番号	
※お客様	お名前			
	ご住所	〒 電話 ()		
※販売店	住所	〒 電話 ()		
	店名			

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内で次のような場合には、有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
 - (ホ) 本書の提示がない場合。
 - (ヘ) 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●この保障書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立工機電動工具センターにお問い合わせください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。



〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1 (品川インターシティA棟)
電話 (03) 5783-0626 (代)